

§ 2 教育課程

1. 学校の目的

一時滞米者の子女が帰国後の日本の教育環境や社会に順応できるように、日本の教育に準拠した主要教科の授業を日本語で行うことを目的とする。

2. 学校教育目標

『豊かな心と、たくましく生きる力を持った児童生徒の育成』

～輝く子どもの姿を求めて～

【目指す児童生徒】

- (1) 意欲的に学習に取り組む児童生徒
- (2) お互いのよさを認め合える児童生徒
- (3) 失敗をおそれずチャレンジする児童生徒

【目指す学校】

- (1) 明るく楽しい学校
- (2) 活気に満ちた学校
- (3) 信頼される学校

【目指す教師】

- (1) 児童生徒のよさを引き出せる教師
- (2) 授業の工夫に意欲的に取り組む教師
- (3) お互い協力し支え合う教師

3. 具体的な努力事項

- (1) 学習内容の精選を図り、効率のよい指導展開を工夫する。また、研修の機会を確保し、教師個々の力量を高め、より質の高い授業を目指す。
- (2) 読むこと書くこと話すことの指導に重点を置き基礎学力の定着を図ると共に、日本語で豊かに自己表現ができるようになることを目指す。
- (3) 児童生徒個々のよさが認められ、それぞれが満足感や成就感を味わうことができる活動の場、発表の場の工夫に努める。
- (4) 学校行事及び、日々の学校生活の中で、日本の学校文化に触れさせるとともに、社会生活に必要な望ましい基本的な生活習慣を養うことに努める。
- (5) 日々の安全については常に点検活動を怠らず、児童生徒の安全確保に努める。
- (6) 学年・学部間はもとより、家庭や現地校との連携をはかり児童生徒個々の理解に努める。また、教育相談の実施に努める。
- (7) 運営委員会、保護者会、職員会議、等との連携を図り組織的機能的な運営に努める。
- (8) 保護者・関係機関に対して情報公開をし、学校教育を理解してもらうよう努める。

4. 学部構成等

(1) 学部編成

幼稚部(年長)・小学部(1～6年)・中学部(1～3年)・高等部(1～3年)

(2) 学級編成

児童・生徒の20人程度をもって1学級とする。ただし幼稚部に限り40名(2学級)を超えた場合は、待機とする。

(3) 学期

4月入園・入学、翌3月卒園・卒業の3学期制とする。

(4) 修了・卒業

各学年の課程を修了したことを校長が認定した者には、修了証書を交付し進級を許可する。また、幼稚部・小学部・中学部・高等部の課程を修了したことを校長が認めた者には、卒園・卒業証書を交付する。

5. 授業日数及び単位時間

(1) 授業日数：40日、学校行事2日(運動会1日、卒園・卒業式1日) 合計42日

(2) 1単位時間：幼稚部、小学部、中学部＝45分 高等部＝60分

6. 指導教科等

幼稚部	ことば	音楽リズム	絵画制作	計 5時間
小学部5・6年	国語 2	算数 2	社会 1	計 5時間
中学部1～3年	国語 2	数学 2	社会 1	計 5時間
高等部	国語Ⅰ・国語Ⅱ・国語Ⅲ 数学Ⅰ・数学Ⅱ上・数学Ⅱ下 英語Ⅰ・英語Ⅱ・英語Ⅲ 小論文・現代社会			計 5時間

7. 授業時間割

	低学年(幼～小4)	高学年(小5年～中3年)	高等部		
職員朝会	8:50～8:55				
朝の会	8:55～9:05				
第1校時	9:05～9:50		第1校時	9:05～10:05	
第2校時	9:55～10:40		第2校時	10:15～11:15	
20分休憩	10:40～11:00		第3校時	11:25～12:25	
昼食休憩	11:45～12:15	第4校時	11:55～12:45	昼食休憩	12:25～12:55
第4校時	12:15～13:00	昼食休憩	12:40～13:10	第4校時	12:55～13:55
第5校時	13:10～13:55				
帰りの会	13:55～14:00				
下校	14:00				